

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社林原		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒702-8006 岡山市中区藤崎675-1	
本票作成	部署名：エンジニアリング部				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	食品・医薬品・化粧品・健康食品などの各種素材及び機能性色素の研究開発、製造、販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山第一工場 天瀬作業場		岡山市北区天瀬南町7-7	
	②	岡山機能糖質工場		岡山市北区今保578	
	③	岡山第二工場		岡山市北区今保578	
	④	吉備製薬工場		加賀郡吉備中央町吉川416-3	
	⑤	藤田工場		岡山市南区藤田564-176	
⑥	藤田製剤工場		岡山市南区藤田564-230		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 11 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 23 年度)	(平成 28)年度排出量	目標年度(平成 28 年度)
	76,594 t CO ₂	58,340 t CO ₂	68,935 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28)年度排出量
	①	岡山第一工場 天瀬作業場	657 t CO ₂
	②	岡山機能糖質工場	37,103 t CO ₂
	③	岡山第二工場	14,021 t CO ₂
	④	吉備製薬工場	66 t CO ₂
	⑤	藤田工場	1,341 t CO ₂
⑥	藤田製剤工場	441 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：平成 24 年度 ～ 平成 28 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(28)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	15.8 %	10.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 「トレハロース」の製造量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(28)年度	目標年度
		805.9 kg CO ₂ /(t)	678.2 kgCO ₂ /(t)	725.3 kgCO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

工場新築(移転)、製造移管、CO₂排出係数の小さいエネルギーへの転換により、実排出量ならびに原単位当たり排出量の目標削減率を大きく上回る結果で目標を達成した。

【推進体制】

エネルギー管理統括者・エネルギー管理企画推進者・エネルギー管理者・各工場等で構成されたエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況および削減への取り組みを毎月確認し、四半期毎の報告会では積極的な意見交換や情報交換を通じて、効果のあった取り組みを水平展開するなど活動を行っている。
工場単位あるいは各地区単位でも省エネルギー推進委員会や省エネルギーパトロールなどの積極的な取り組みを継続している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山第一工場 岡山第一工場 天瀬作業場 岡山機能糖質工場 岡山第二工場 藤田工場 研究開発本部	(H28年度実施分) 屋根遮熱塗装による空調電力削減。 不要機器撤去による待機電力の削減。不良スチームトラップ更新。 チラーユニットのオーバーホール。コンプレッサー本体を省エネタイプに更新。ボイラー給水ポンプを省エネタイプに更新。ブロワーをINV制御化。 蒸気配管の保温材更新による放熱低減 コンプレッサー更新・空調機用冷凍機更新・照明のLED化による電力削減。 市水給水ポンプ更新、LED照明に更新、クーリングタワー更新による電力削減。 蛍光灯照明のLED化による電力削減。
岡山第一工場 岡山第二工場 岡山機能糖質工場 藤田工場 藤田製剤工場 岡山第一工場 桑野作業場 ・研究開発本部	(今後実施予定分) エアコン冷媒サイクルへの気液分離器取付け、効率アップすることで空調電力量を削減。窓ガラスへの遮熱フィルム施工。 負荷設備へ電力計測器を取付けエネルギー管理し、機器の不要運転を防止。 ボイラー保温による放熱低減。空調機のINV化による電力削減。 既設廃水曝気槽散気設備更新。エアコン更新。チラー冷凍機更新。 ボイラー保温ジャケット施工による放熱量低減。 真空ポンプをドライタイプに更新し、封水量削減で廃水電力削減。 機械室クリーニングタワー更新。冷水ラインポンプ更新。 市水給水ポンプ更新。 空調不具合箇所更新。 照明をLEDに更新

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

なし